NTT東日本東北病院 連携だより

津波で流された家屋、自動車

東日本大地震に 病院一丸

H23.3.11（金）午後2時46分

三陸沖を震源にマグニチュード9.0の激震が5分も続いた後、千年に一度という大津波が押し寄せ無数の方々の命や生活が奪われました。その後も続く余震におびえながら、数十万人もの避難者が恐怖と寒さ空腹に耐え続けました。さらに原子力発電所での炉心溶融で被曝被害も発生しました。

当院に於いては直ちに災害対策本部を設置、院内点検、入院患者や職員家族の安否確認とともに被災患者の受入れ体制の確立を計り、内科、外科は24時間の受け入れ、その他の診療科に於いても通常の診療を実施しました（仙台市内病院で通常診療ができたのは当院を含めて2病院だけという衝撃でした）。職員が通勤困難という状況の中で、避難所からの患者あるいは連なる救急車来院、若林避難所での診療,他病院からの重症者の受入など病床稼働率100%を超える日もある忙しさの日々でしたが、NTT東日本関東病院、伊豆病院、札幌病院、長野病院から看護師の応援をいただき病院が一丸となり対応にあたりました。

長い避難所生活での疲れや高齢者の方々で体調を崩され、夜間に救急車で運ばれてくる患者さんがまだまだおります。被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。また、くれぐれも体調管理に留意され一日も早い復興をお祈り申し上げます。

なお、食料、物資等の送付や激励をいただきました関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

※地震後当院に避難された方々。特老施設の皆さん（左）、近隣住民の皆さん

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かい良質な医療の提供に努めます。

～目　次～

○東北地方太平洋沖地震……………………………P. 1
○近所会、泌尿器科…………………………………P. 2
○「医療メディエーション」、市民公開講座…P. 3
○新任医師紹介、トピックス………………………P. 4

近所会（連携会）勉強会

話題：当院の医療連携・COPD診療連携・外科診療

陥入爪の治療につき今野先生が講演

H23.2.15（火）

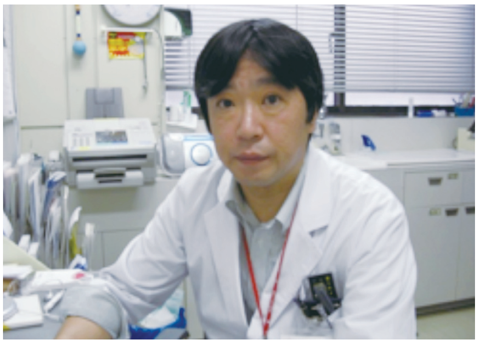
ホテルメトロポリタン仙台に於いて、近所会（連携の会）勉強会を多数の先生方にご出席いただき開催されました。今回は「医療連携」の流れがわからない…との要望があったことから、関口副院長から当院の医療連携の取り組み及び流れについて先生方にご理解をいただきました。更に高橋呼吸器内科部長から「呼吸器疾患、COPD 診療の連携」について、患者さんの取組み事例を紹介、患者さんの自己管理は基より、Dr, 看護師等連携が大事である旨発表されました。続いて、寺澤外科部長が「当院の外科診療」と題しがん、ヘルニア等の治療事例を紹介。更に近所会を代表し今野外科整形外科今野喜郎先生が「母趾爪疾患の治療について」生々しい写真とユーモアのある話し方で講演を行い、先生方の注目を一心に集められました。続いて行われました情報交換会でも貴重なご意見をいただくことができました。ありがとうございました。

講演される今野喜郎先生

挨拶をする大泉哲之助先生

左から千葉先生・斎藤看護長・桃野先生・今野先生

泌尿器科　　医師　及川克彦



及川　医師

【診療内容】

排尿困難・頻尿・尿失禁などの排尿障害をはじめ、前立腺癌などの泌尿・生殖器腫瘍、性・尿路感染症を中心に診療しています。

手術や放射線療法など、集学的治療や先進医療を必要とする患者さんにつきましては、東北大学病院をはじめ、仙台医療センター、宮城県立がんセンター、仙台市立病院、仙台社会保険病院などと連携し治療をすすめています。

主な対象疾患：前立腺肥大症、過活動膀胱、前立腺癌、腎癌・膀胱癌、性感染症・膀胱炎・腎盂腎炎、尿路結石症、EDなど。

【診療体制】

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
担当	及川	予約	及川	大学Dr	及川	予約	及川	予約	及川	予約

医療メディエーション
…対話による患者とのパートナーシップの構築…

医療安全講習会　和田　仁孝先生

「H23.3.9(水)」

早稲田大学大学院
法務研究科教授

事故の場合、患者に対して、医療側が向き合う二項対立での話し合いが普通であった。言うまでもなく、医療側は病院を背負う立場で、患者側と向き合うことになる。

事故が起こって訴訟に至る原因の多くは、事故そのものより、その後の医療機関の対応にあると言われる。それは、医療側はもちろん、患者遺族にとっても、望んだ結果ではないはずである。医療側が誠実でも認知齟齬から問題はエスカレートしがちなことを踏まえて、きちんとした理論とスキル、そして姿勢をともなった実践的モデルに基づき、対応を整備していくことが、患者=医療者の関係再構築への一つの手がかりになる。

市民公開講座

第21回「乳がん」

(H22.11.17)

～早期発見のために～、乳がんは早期発見すれば根治できる病気です。乳がん検診を受けましょう。　　　　　（外科、福田医師）

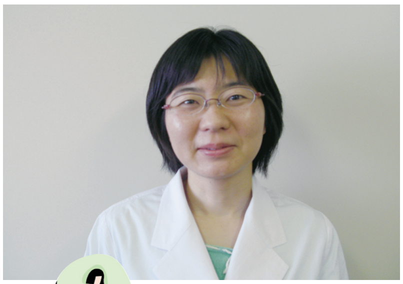
第22回「腎臓病の治療」

(H23.1.26)

CKD(慢性腎臓病)について話され、ステージにあてはめると、日常の注意点を知ることができる。　　　　　（東北大学、佐藤博教授）

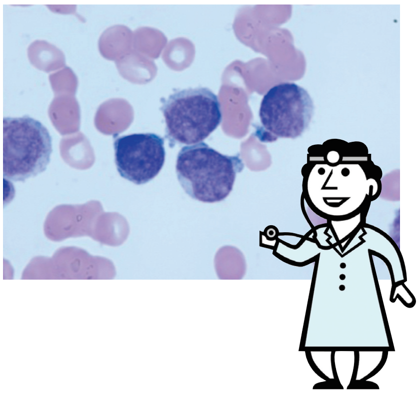
よろしくお願いいたします
H23年度新任医師 1

安倍美加医師（整形外科）



5月9日に南相馬市渡辺病院から着任いたしました。出身は京都です。1年ぶりに仙台に帰ってきました。整形外科全般にわたって担当致しますのでよろしくお願いいたします。

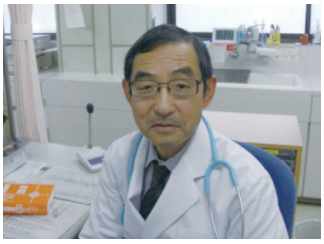
関　正則医師（内科、血液内科）



専門は血液内科です。これまでは石巻日赤、大崎市民病院に勤務しておりました。病院システム、仙台の医療状況に早く慣れお役に立ちたいと思っております。よろしくお願いいたします。

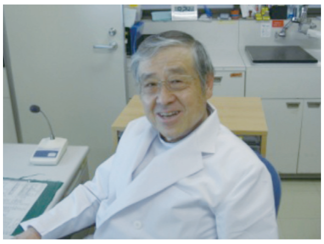
H23年度新任医師 2　よろしくお願いいたします。

吉田克己医師（内科）



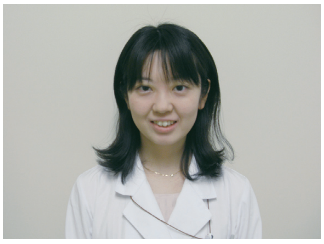
月曜日の午前中、内科新患外来のお手伝いさせていただいています。S47年に東北大学を卒業し今年3月に東北大学を定年退職しました。東北大学では旧第二内科で主に内分泌を専門としていました。よろしくお願いします。
（甲状腺、内分泌）

本田剛彦医師（総合診療）



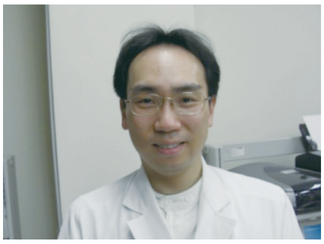
金曜日午前の新患外来を担当させて頂いている本田です。3月11日の東日本大震災を南三陸町志津川で被災しました。診療所が消滅してしまいましたので佐々木毅院長（東北大学医学部の同級生です）のご高配により当院にお世話になっております。慣れないことがあり、ご迷惑をお掛けすることもあるとおもいますが、よろしくお願い致します。
（総合診療、循環器）

木下　知医師（内科）



4月から内科での診療に入りました。和歌山出身です。2年前から仙台に住んでいます。
ようやく寒さにも慣れてきたところです。若くて元気だけが取り得ですが頑張ります。よろしくお願いいたします。
（後期研修医）

菅崎将樹医師（歯科）



はじめまして、菅崎（スガザキ）と申します。広島県よりH5年に東北大学進学のため仙台にきました。最近では「いずい」という言葉の意味も肌で感じ取れるようになり、「いずいのぅ」と仙台弁と広島弁が合体したような言葉が頭の中に浮かびます。こんな私ですが、精一杯がんばりますのでよろしくお願いします。
（口腔外科）

Topics　Topics　Topics

「クリスマスコンサート」。聖歌隊によるクリスマスの賛美歌。（H22.12.22）

「新人歓迎会」。新しい仲間と一緒にがんばりましょう。（H23.4.22）

柴田三兄妹：三兄妹にしか出せない津軽三味線の音色は人々を魅了しました。（当院、外来ホールにて）（H23.1.19）

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
NTT東日本東北病院
地域医療連携室
TEL 022-236-5899
FAX 022-236-5920